

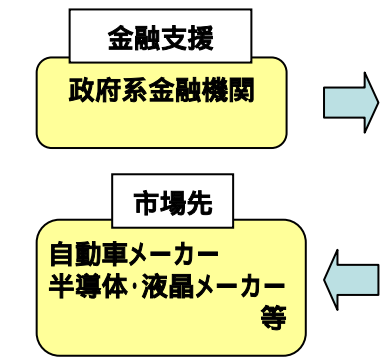
地域	広島県広島市	認定日	平成20年2月26日	6 - 19 - 030
事業分類	製造(一般機械)	テーマ分類	次世代(ロボット)	

事業名: 品質向上と経済性を同時達成する自動車塗装欠陥検査装置「PDDM NEW-」を製造・販売する事業

事業概要(新規性、市場性等)

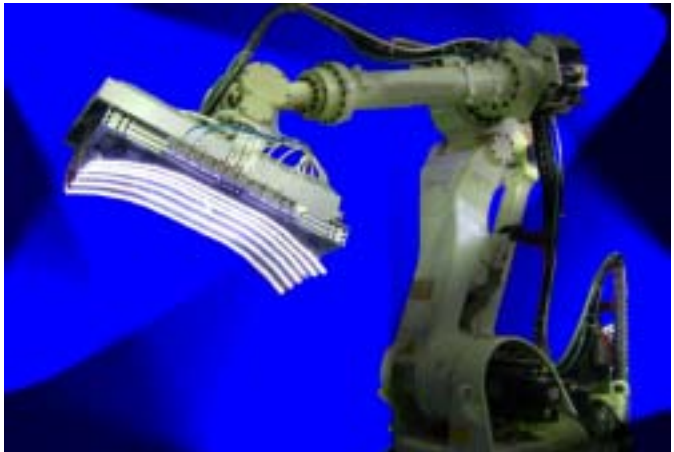
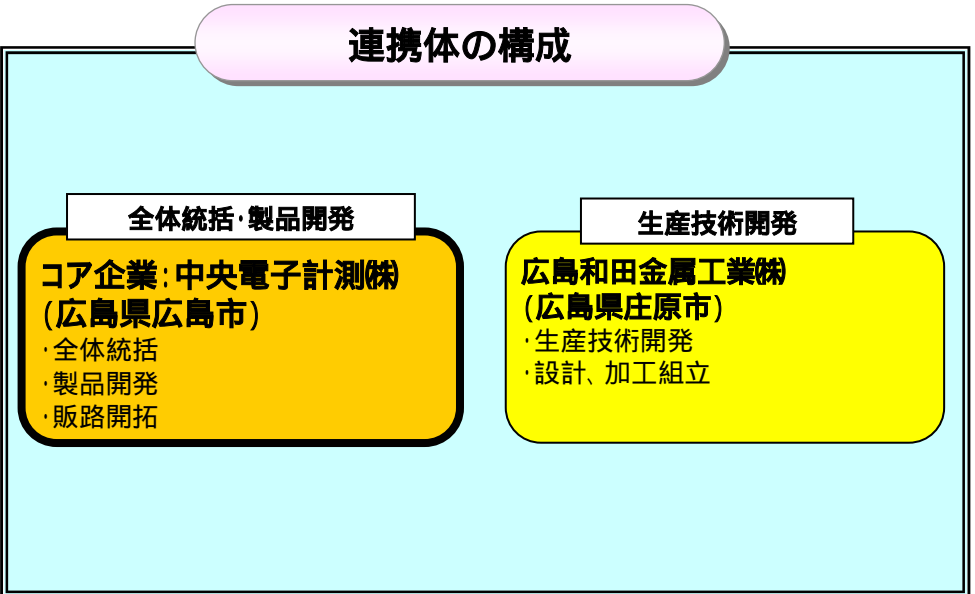
- ・本事業は、コア企業がこれまでのヘッドライトテスター等の開発で蓄積した画像処理技術をもとに開発した、自動車塗装表面の凹凸欠陥を判定する自動検査装置を製造・販売する事業。
- ・ストライプ状に配設した高輝度LEDを検査対象物に照射し、同一基板内に設置されたCCDカメラで読み取った明るさの違いによって欠陥を認識する仕組みで、塗装面に対してカメラが常に等距離・直角になるように制御することで、曲面部での検査にも対応できるのが特徴。
- ・世界の自動車業界においては塗装外観が商品力の重要な要素となっているが、現状では塗装欠陥の検査工程は目視が主流であり、検査自動化に対するニーズが極めて高く、本製品は多くの自動車メーカー等への適用が期待される。

事業推進体制

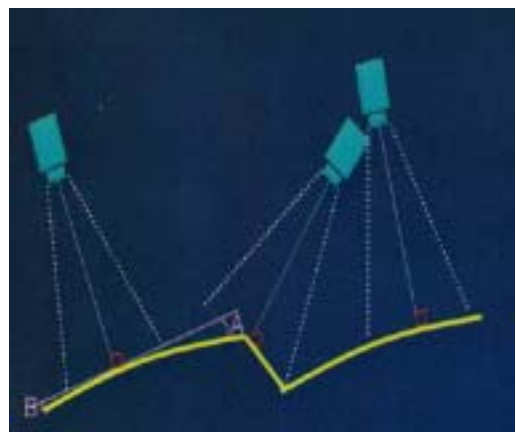


支援予定メニュー

補助金
低利融資



塗装欠陥検査装置



曲面部の計測方法

連携のきっかけ、特徴

- ・当社では、自動車の車検場等で用いるヘッドライトテスターの製造・販売を行っているが、納入先の自動車メーカーから、塗装工程を省力化できないかという要望が多く寄せられていた。
- ・そこで、これまでヘッドライトテスター製造で培った画像処理技術を応用し、多曲面でも自動で検査できる塗装欠陥検査装置を開発した。
- ・この装置はストライプ状に配設した高輝度LEDを検査対象物に照射し、同一基板内に設置されたCCDカメラで読み取った明るさの違いによって欠陥を認識する仕組みで、塗装面に対してカメラが常に等距離・直角になるように制御することに特徴があり、多曲面での検査にも対応でき、全塗装面の95%超のエリアでの欠陥検出が可能で、検出精度は0.3mmの欠陥を95%以上検出が可能である。
- ・事業実施にあたっては、照明部や制御盤等の製造について高い精密加工技術を有している広島和田金属工業と連携して進めていく。これまでヘッドライトテスター製造において相互に技術的な信頼関係を築いており、強固な連携体制となっている。

コア企業の会社概要

企業名・代表者	中央電子計測株式会社 代表取締役 賀谷 俊幸	
所在地	広島県広島市東区牛田東2丁目10-25	
創業	1976年4月	
資本金・従業員数	50,000千円	39名
業種	その他の電子応用装置製造業	
TEL	082-223-7625	
FAX	082-223-8373	
ホームページ	-	
e-mail	cem@bronze.ocn.ne.jp	

PR等その他の情報

- ・これまで高めてきた塗装欠陥検査装置の性能は、全塗装面の95%超のエリアでの欠陥検出が可能で、検出精度は0.3mmの欠陥を95%以上検出が可能となっており、全世界の自動車メーカーから高い評価を受けています。
- ・新年度から欧米自動車メーカーに積極的に展開を図っていきます。具体的に欧米の自動車メーカーにおいて、実機で実際に性能を検証してもらい、実納入・販売に繋げていきます。